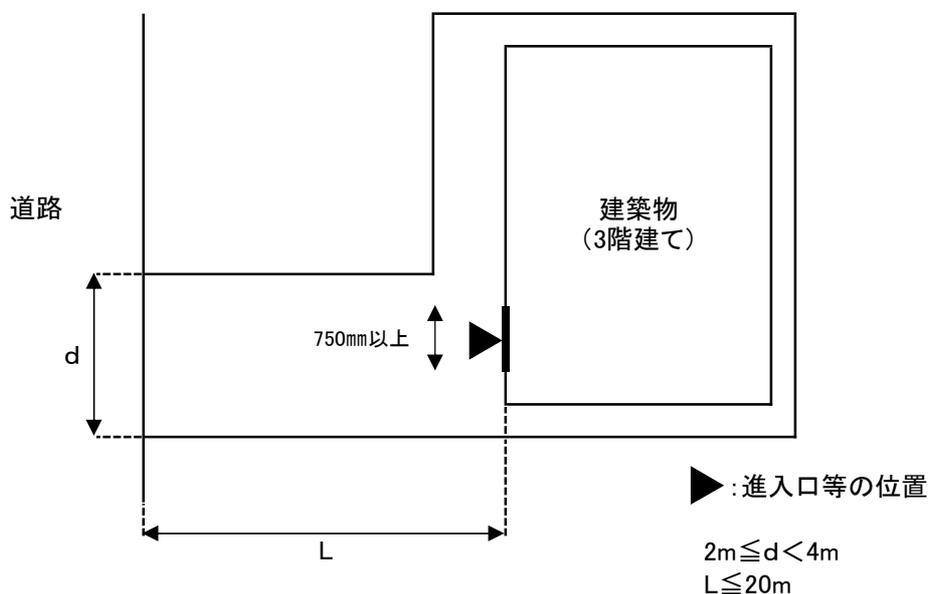


| | | |
|--------------------|-------------------------|-------------|
| 路地状敷地の代替非常用進入口について | | 作成(改訂)日 |
| | | 平成29年10月17日 |
| 関係条文 | 建築基準法施行令第126条の6、第126条の7 | |

路地状敷地(接道長さ2m以上4m未満)における代替非常用進入口については以下のように取り扱う。

- ・道路から非常用進入口等までの延長(下図:L)が20m以下であること。
- ・路地状部分の幅員(下図:d)が2m以上であること。
- ・地階を除く階数が3であること。
- ・非常用進入口等(当該非常用進入口等が付随するバルコニーその他これらに類するものを含む)が、道路から有効で750mm以上視認できるように設置されていること。



| | |
|--------|-------------------|
| 技術的助言等 | |
| 参考文献等 | 建築物の防火避難規定の解説2016 |